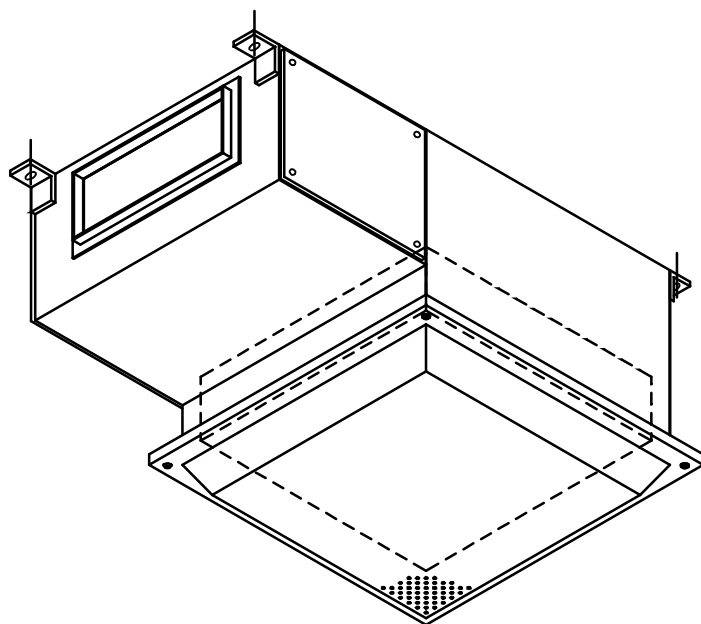


ファン付クリーンエアプロジェクタ
CAPT - FN
取扱説明書



ニッタ株式会社

クリーンエンジニアリング事業部

目次

はじめに

仕様上の御注意	2
安全上の御注意	2 ~ 3

1 . 各 部 名 称	4
2 . フィルタ取付	5
3 . パンチング取付	6
4 . 設置注意事項	7
5 . 指定外使用方法の禁止	7
6 . 電源接続・保護設置方法	7
7 . 保 守	7
8 . 洗 浄	8
9 . 使 用 環 境	8
1 0 . 機 器 定 格	8
1 1 . 消 耗 品	8
1 2 . 保 証 書	9
1 3 . サービス体制	9

はじめに

・ 使用上の御注意

このたびは、ファン付クリーンエアプロジェクタ（ファン付ＣＡＰ）をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。当社ではこのファン付クリーンエアプロジェクタ（ファン付ＣＡＰ）を安心してご使用頂けますよう細心の注意をはらって製作しておりますが、取扱いを誤りますと、思わぬ事故を引き起こすこともありますので、この取扱い説明書に従い、正しくご使用下さいますようお願いいたします。なお、この取扱い説明書は、大切に保管して下さい。

・ 安全上の御注意

- * ご使用の前に、この「安全上の御注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- * ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の３つに区分しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守って下さい。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が予想される内容

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

注意：人が損害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容

< 危険 >

- １）通電中及び運転中はメンテパネルを開けないで下さい。感電の原因になります。
- ２）メンテパネルをはずしての運転は行わないで下さい。送風機が露出していますので感電の原因になります。
- ３）電源ＯＦＦ時でも配線作業・定期点検以外ではメンテパネルをはずさないで下さい。
- ４）配線作業や点検は、電源遮断後、テストなどで電圧を確認してから行って下さい。
- ５）配線作業や点検は専門の技術者が行って下さい。
濡れた手で端子台等を操作しないで下さい。感電の原因となります。

< 警告 >

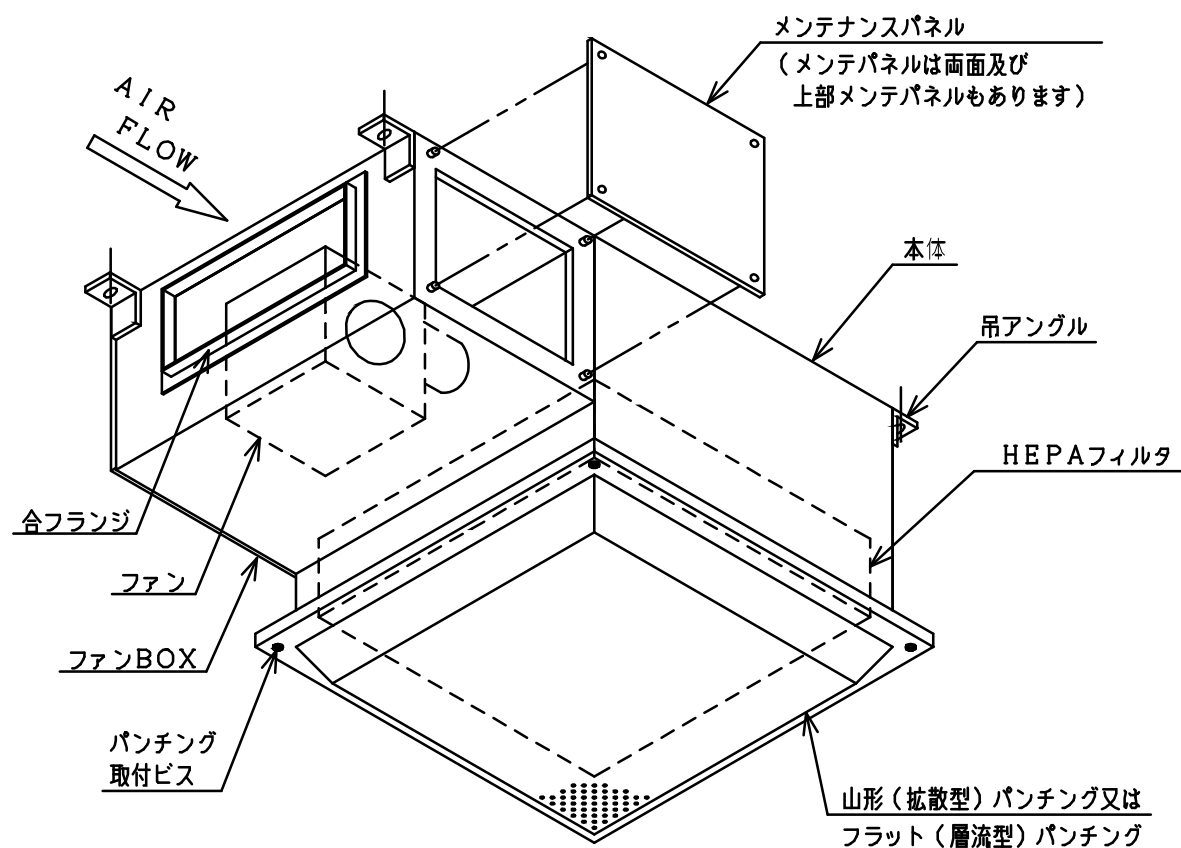
- 1) 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造等行わないで下さい。
発火したり破損して、けがをすることがあります。
- 2) 点検修理の際は、必ず電源スイッチを切るとともに、送風機が回っていないことを確かめてから、行って下さい。急に送風機が起動したり外力や慣性で回転していることがあり、けがをすることがあります。
- 3) 送風機の吹出口・吸込口付近に物を近づけないで下さい。または運転中は近づかないで下さい。吸い込まれたり、飛ばされたりしてケガの原因になります
- 4) 送風機の吹出口・吸込口から指や棒等を入れないで下さい。また、衣服が巻き込まれないようにして下さい。内部で羽根車が回っていますので、けがの原因に になります。

< 注意 >

- 1) 電動機にさわらないで下さい。高温になっていますので火傷の原因になります。
- 2) 常に水滴が掛かる所や、湿気の高い所等には、設置しないで下さい。感電や漏電の恐れがあります。
- 3) 定格電圧以外では、ご使用にならないで下さい。火災や感電の原因になることがあります。
- 4) 正規の回転方向であることを確認して下さい。誤った方向であると、火災や事故の原因になることがあります。
- 5) 長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源を遮断して下さい。ホコリが溜まって発熱・発火の原因になることがあります。
- 6) 動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止の為、すぐ電源スイッチを切り、当社に必ず点検修理を依頼して下さい。
- 7) 送風機が故障した場合は、電源を遮断して下さい。大電流が流れていると、火災の原因になります。

1. 各部名称

本製品はファン付クリーンエアプロジェクタ（ファン付CAP）です。



2 フィルタ取付け

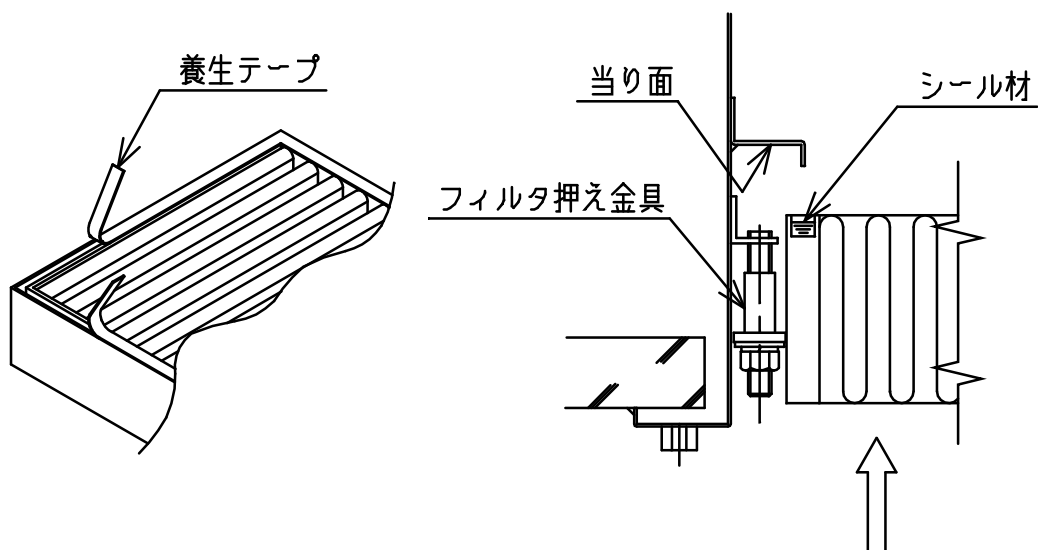
フィルタ取付前に本体内部を洗浄し、フィルタ押え金具をあらかじめゆるめて下さい。

H E P A フィルタは非常に壊れ易い物ですから取り扱いには十分注意してください。

(H E P A フィルタにはチャンネルゲルシールタイプとガスケットシールタイプの
2 種類あります。)

1) チャンネルゲルシールタイプ (型式 C A P C)

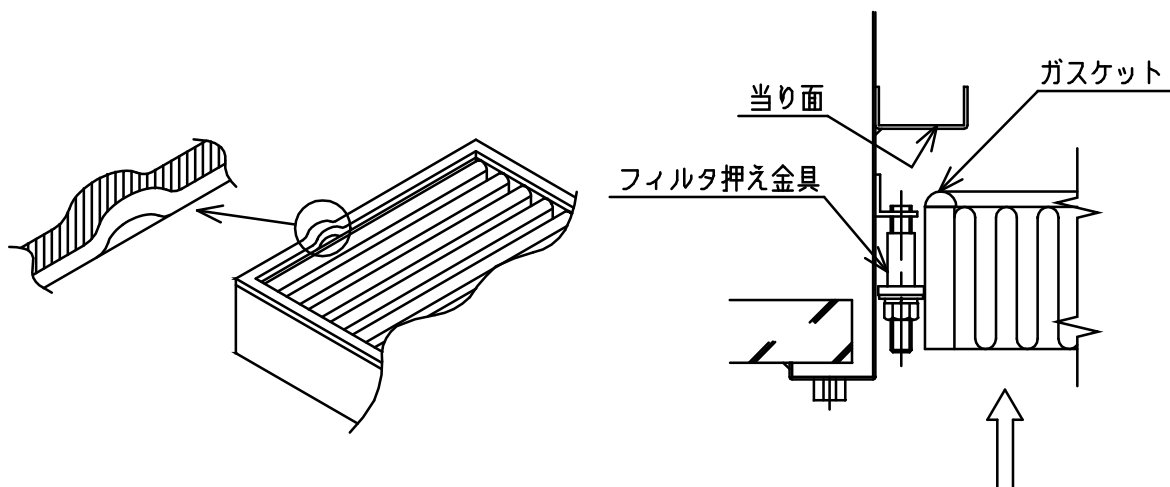
このフィルタは必ず養生テープをはがしてからフィルタ取付を行ってください。



フィルタ枠材のシール材が本体フィルタ当たり面に
ぴったり入る様に注意してください。

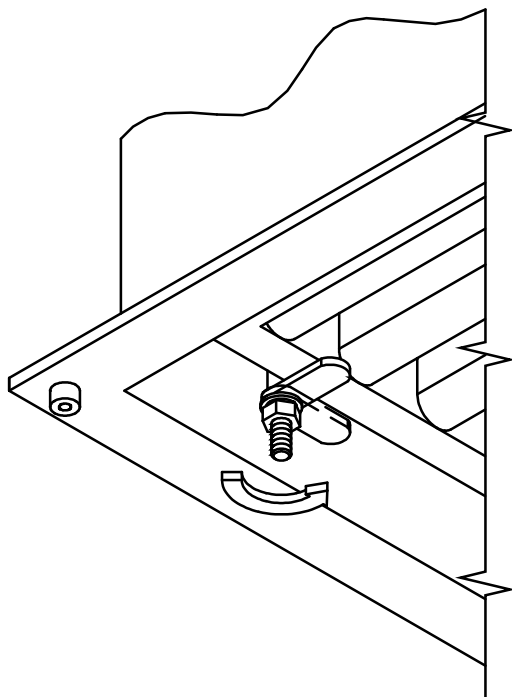
2) ガスケットシールタイプ (型式 C A P G)

ガスケットにめくれ、ゆがみ等がないか確認してください。



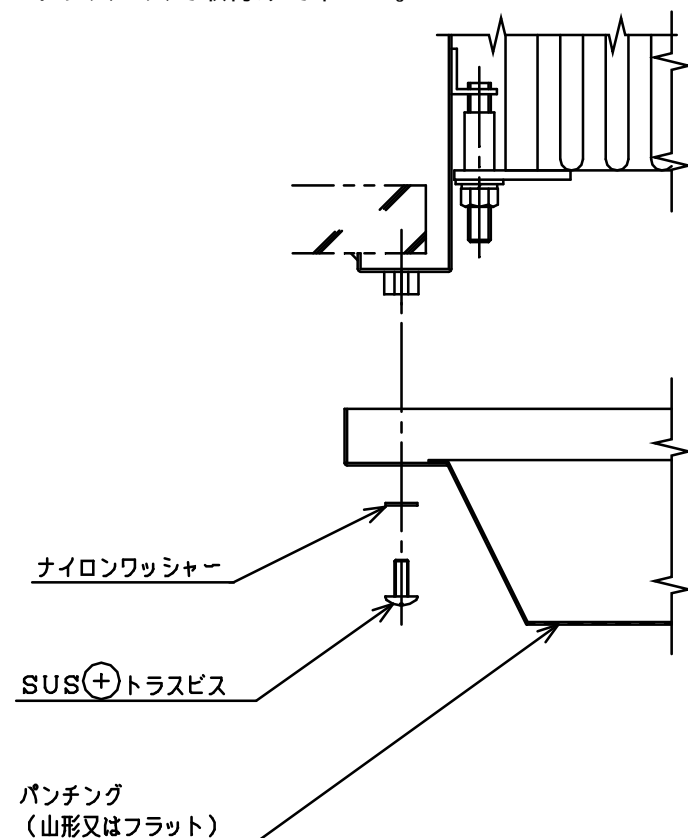
フィルタ枠材のガスケット材が本体フィルタ当たり面に
ぴったり入る様に注意してください。

- 3) フィルタ押え金具を 90 度回転させ
M10 ナットを締め込んでセットします。



3. パンチング取付

山形又はフラットパンチングはナイロンワッシャー
SUS+トラスビスで取付けて下さい。



4．設置注意事項

据え付けは本体重量に耐えうる所に設置して下さい。据え付けが不完全な場合、感電、火災、落下によりケガの原因になることがあります。

爆発性、引火性、その他有毒ガスがある場所には設置しないで下さい。

空気中の水蒸気に塩分が多量に含まれている場所には設置しないで下さい。

油煙の多い場所には設置しないで下さい。

5．指定外に使用方法の禁止

下記の特種な場所では設置しないで下さい。

爆燃性粉塵のある場所

可燃性ガスのある場所

可燃性粉塵のある場所

危険物等のある場所

粉塵の多い場所

6．電源接続・保護設置法

アースを確実に取りつけるとともに、漏電ブレーカーを必ず設置して下さい。

電源接続しない線でも充電部です。必ず絶縁して下さい。故障や漏電による火災や感電の恐れがあります。

配管工事は電気設備技術基準や内線規程に従って正しく行って下さい。

- 1) 本体の電源設備や配管工事等は、電気設備技術基準及び内線規程に従い正しく施工して下さい。無資格者による不完全な配線工事、接地（アース）等は法律違反だけではなく非常に危険ですから絶対に行わないで下さい。

- 2) 開閉器を入れる前に次の点をお調べ下さい。

配線は間違いはないか。

接地（アース）は確実に施工してあるか。

電線がゆるんだり、はずれたりしないか、お調べ下さい。

7．保守

本体ユニットの点検・修理は、電源スイッチを必ず切り、羽根車が回転していないことを確認してから行って下さい。急にファンが起動したり惰性や外力で羽根車が回転していることがあり、ケガの原因になります。

修理技術者以外の方は分解・修理・改造等を絶対に行わないで下さい。破損や発火によるケガの原因になる事があります。

動かなくなったり、異常がある場合は事故防止のため、直ちに電源を切り、当社に点検修理を依頼して下さい。

1) 日常点検

毎日 1 回次の項目を点検し、記録しておくことをお勧めします。

異常音や異常振動を発していないか。

電流値は正常か。

通常時の状態と比較して異常があった時は、直ちに運転を停止し、調べる必要があります。

2) 定期点検

定期点検は、少なくとも年に一度行って下さい。

また、定期内容や運転状態を記録しておいて下さい。故障の防止や、原因究明の手助けになります。なお内部の汚れのひどい場合は短期間の定期的な清掃を行って下さい。

8. 洗浄

本体の運転を停止し電源を切って下さい。本体メンテパネルを外しファンが回っていない事を確認して下さい。

ベンコット等で乾拭きしてからアルコールや超純水で染み込ませて拭き取って下さい。（但し、電気部品には触れないで下さい。）

H E P A フィルタが黒くなってきましたら交換をお勧めいたします。

9. 使用環境

本ユニットは屋外設置にて - 1 0 ~ + 4 0 の間で使用して下さい。

10. ユニット機器定格

定格電圧 3 A C 2 0 0 V ± 1 0 % 5 0 / 6 0 H z

(1 A C 1 0 0 V ± 1 0 % 5 0 / 6 0 H z)

11. 消耗品

H E P A フィルタ：フィルタの、ろ材が埃などで黒くなりましたら交換して下さい。

送風機：送風機は推定寿命約 1 0、0 0 0 時間です。1 0、0 0 0 時間を過ぎると発火・異常停止する可能性がありますので運転している状態でも前もっての 交換をお勧めします。

12. 保証書

1. 保証期間内（納入日より1年間）に通常状態において、万一故障を生じた場合は無料で修理いたします。（通常の使用状態とは所定の電源（3相200V及び1相100V）を使用し常温、常湿の条件においてフィルタを装着した状態でファンを動作させた場合を指します。）

2. 保証期間内の有償

次の場合は、有償修理となります。

イ) 使用上のミス、不当な修理及び改造による故障及び損傷

ロ) 納入後の移動、落下等による故障及び損傷

ハ) 天災地変、異常電圧及び指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障及び損傷

ニ) 消耗品（フィルタ関係含む）の交換

ホ) 海外において故障及び損傷が発生した場合、原則として返品していただきます。

修理を行う場合は別途費用を請求致します。

13. サービス体制（2006年3月現在）

当フィルタユニットに不具合があった場合は下記まで速やかにご連絡下さい。

ニッタ株式会社 クリーンエンジニアリング事業部

本社（大阪） 〒556-0022 大阪市浪速区桜川 4-4-26

TEL：06-6563-1231 FAX：06-6563-1232

東京支店 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-12 赤坂山王ビル

TEL：03-3586-2763 FAX：03-3586-2764

名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 1-17-23

TEL：052-589-1301 FAX：052-566-2007

福岡営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 4-28-2

TEL：092-473-6651 FAX：092-474-2568

URL <http://www.nitta.co.jp>

製品保証書

納入先 会社名			
代理店			
保証期間	一年間	年	月 日まで

型 式	台数	製 造 番 号

ニッタ株式会社
 産業資材事業部
 〒556-0022
 大阪市浪速区桜川4-4-26
 T E L 06-6563-1231
 F A X 06-6563-1232

無料修理規定

1. 取扱説明書・取扱いラベルの注意書にしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には
弊社が無料修理いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 本書のご提示がない場合。
 - (ロ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
 - (ハ) 納入後に落とされた場合などによる故障・損傷
 - (ニ) 火災・公害・異常電圧および地震・落雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障・
損傷。
 - (ホ) 消耗品（フィルタ関係含む）の交換。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。

この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従いまして、この保証書によってお客様の法律上の権限を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合は、代理店または弊社営業窓口にお問い合わせ下さい。
尚、保証書は再発行いたしませんので大切に保管下さい。

文書番号 06 - 5 - E - 01